

みんなで応援！県北の家庭教育！

発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町2番16号
電話024-521-2814

家庭教育応援企業
にお勤めの皆様へ

家庭教育応援企業にお勤めの皆様には、日頃より本県の家庭教育の推進につきまして、御協力いただき厚く御礼申し上げます。



県内ではインフルエンザが猛威をふるっています。感染に細心の注意を払いながら短い3学期を充実させていきたいですね。今回の企業通信では、新規申込応援企業、応援企業取組事例、県北教育事務所の取組として、家庭教育支援者地区別研修会、ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」についてご紹介いたします。

新規申込企業へ認証書の交付をしました



株式会社福島リビング新聞社（福島市御倉町）

株式会社福島リビング新聞社は、日々の暮らしが明るく前向きになる情報発信をテーマとし、生活者に最も近い生活情報紙として、郡山市・福島市を中心に「LIVING新聞」を無料配布しています。また、福島県内全ての小学生とその保護者に向けた「てとて」、中学生版「てとて+（プラス）」も発行し、福島子どもたちの健やかな成長を応援している会社です。

また、「暮らし」を少しでも楽しく快適にしたいと願う女性のため、常に女性の声を取り入れて、新鮮で幅広い話題を届けるため、取材や執筆はすべて女性編集者が行っているそうです。



<取組項目>

- 職場の家庭教育推進
- 生活習慣を向上させる取組
- 学校行事への参加促進
- 職場見学・体験の実施
- 学校との協働活動
- 地域行事への協力・支援

働く保護者にとって、子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力、ワークライフ・バランスの推進が欠かせません。これからも一緒に県北の家庭教育を応援していただけることを期待しています。



株式会社福島リビング
新聞社さんのHPはこちら！



【県北の家庭教育応援企業／198社（R7.1現在）】

※ 企業名については県北教育事務所HPをご覧ください。
（二次元コードからも見ることができます）



家庭教育応援企業の「取組事例」(活動報告)紹介!

企業の皆様には、「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」「学校行事への参加促進」「職場見学・体験の実施」「地域行事への協力・支援」などの面から家庭教育を応援いただいております。今回は、株式会社福島製作所様の取組の様子をまとめた活動報告書を紹介します。

株式会社福島製作所(福島市三河台)

従業員が休暇を取りやすい職場の雰囲気づくり

有給休暇を必ず取得できるように、年間で計画しています。社員もためらいを感じずに、有給休暇を取得できるため、年次有給休暇取得の年平均は13.9日(2023年4月~2024年3月)です。福利厚生も充実しており、社員にとって働きやすい職場です。

ファミリーデーの実施(職場見学・体験)

11月9日(土)にファミリーデーが開催されました。食堂を会場に54名の家族にご参加いただきました。工場での製作の過程や実物を見て、子どもたちも喜んでいる様子が伺えました。見学の間の待ち時間は、各部門ごとに健康に関するミニゲームを企画したため、社員のチームワークも高まりました。



地域の学校へのお出前講座

10月に福島市立三河台小学校の第4学年の理科の学習でお出前講座を行いました。金属が、温度によって体積が変わることを調べるため、子どもたちが考えた実験方法にアドバイスをしたり、実験を行う際の助言を行ったりしました。最後に福島製作所での金属の体積変化を利用したものづくりや、温度による身近な体積変化について話をさせていただきました。学習を通して、子どもたちが物づくりの仕事に興味をもってけると嬉しいです。



【学習後の子どもたちの感想(抜粋)】

- 理科で分からなかった場所も、説明してくれて、授業をもう一度やりたいと思った。
- 分かりやすい説明で、とても工場の仕事に興味をもちました。
- 工場で働いている人は大切な仕事をしていることが分かった。
- 金属の実験を福島製作所の人たちもやっているの、製作所の人たちみたいにもっと実験したい。



企業にとっても、子どもたちの健やかな成長は、次代を担う人材の育成として、とても重要なことが、子どもたちの感想からも伝わりますね!

ここがすごい!



家庭教育支援者地区別研修会より

今年度から新しくなった、県北地区の家庭教育の事業推進テーマは「子どもの成長に、寄り添い、支える、親のかかわり」です。そのため、今回の家庭教育支援者地区別研修会は、子どもの成長過程に応じた言葉かけや接し方を学ぶことで、地域の家庭教育支援者の実践力の向上や新たな支援者の育成を図り、地域の家庭教育力の向上を目指すため実施しました。保護者の方にもたくさんご参加いただき、充実した研修会となりました。研修会での様子を少しご紹介します！



「子どもに伝わる魔法の「ほめ方」「叱り方」」



講師 島谷 留美 氏
 親子カウンセラー・言葉かけコーチ
 ママの学校主催



ママの学校HP

① 効果的な聞き方

「は」「ふ」「へ」「ほ」「そ」
 を使って、相槌を打ちながら親は聞き手に徹しましょう！

② 最強の「叱り方」

「事実」「わたしが怒る理由・影響」「自身の気持ち」
 の3つセットで伝えましょう！

③ 最強の「ほめ方」

「事実」「自身の気持ち」
 の2つセットで伝えましょう！



詳しい内容は
 県北教育事務所
 のHP、または二
 次元コードより
 ご覧ください。

子どもは、自らの問題を自分で解決することで成長していきます。大人は、子どもが解決策をもっていると信じて寄り添う姿勢が大切なのだと感じました。

研修会には企業通信を見て、申込をしてくれた保護者の方もいました。県北教育事務所では、これからも研修会等、皆様のお役に立てるような情報を提供し、家庭教育支援者の皆様と一緒に、子育てに不安や悩みを抱える皆様を支えていけるよう取り組んでいきたいと思っております。

ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」

平成14年度より実施しているこの事業は、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現することをおして、子どもの豊かな心を育成するとともに、人と人との「絆」を強め、家庭や地域の教育力の向上を図ることを目的として行っています。

令和6年度の県北域内全体の応募総数は、4,843点でした。県優秀作品は下記のとおりです。県北地区第一次審査を通過した作品242点を作品集にまとめましたのでぜひご覧ください！

県入賞作品

【絆部門】

最優秀賞

お手伝い 切りたいまぜたい よそいたい
倍かかる それを覚悟に たのみます

弁当と 母の手紙で 昼充電
手紙にも 想いを詰めて 母応援

佳作

どうやるの 裁縫得意な 祖母に聞く
針の穴 見えぬふりして 孫を呼ぶ

【ふるさと部門】

優秀賞

くわっせよ 心のこもった 福の桃
たくさんの 努力の結晶 桃ひとつ

佳作

かわってく せんだつ山の みどり色
エネルギー 環境保護との 両天秤

待ちわびた 旅も家路に ほっとする
都会より 見慣れた景色と 子の寝顔



十七字で表現することで、身近な人の大切さやふるさとのすばらしさに気づくよい機会になったようです。



絆部門の作品はこちら



ふるさと部門の作品はこちら

家庭教育応援企業
代表者の皆様へ

家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させるためには、家庭や地域だけでなく地元企業の家庭教育への理解や積極的な参加がますます求められています。

そこで、各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」等、企業での工夫やアイデアも募集しています。ぜひ、活動報告書にてお知らせください。日程を教えていただければ取材にも伺います！

